

人の感覚に合った音の評価がしたい 魅力ある音作りがしたい

音の評価には音圧レベルや周波数解析など、様々な手法が用いられています。
人の感覚に合った評価が求められるようになり、大きさなどの量的な評価とともに、質的な評価が用いられることも増えました。

このようなニーズに最適な
音質評価・主観評価の技術をご紹介します！



音質評価とは

人の聴感特性を加味した指標です。FFT解析やオクターブ分析では評価できない、「音の大きさ」「音の甲高さ」などの人が音を聴いた感覚を定量的に求められます。一般的な指標として幅広く用いられており、専用ソフトウェアで計算できます。

関連製品 ▶ 音響振動解析システム **O-Solution** 音質評価機能

主観評価とは

「心地よい音」「気になる音」などの感覚は複雑で、決まった指標がありません。対象音ごとに主観（官能）評価を行う必要があります。実際に人が音を聴いて、印象などを回答する聴感実験が用いられています。

関連製品 ▶ -感性と物理をひとつにつなぐ- **Sound One**

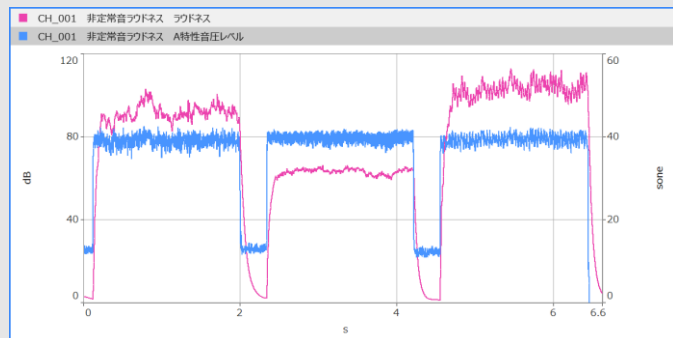


例えば…

音の【大きさ】は音質評価指標の”ラウドネス”で評価できますが
【うるささ】(ネガティブな印象)の評価には主観評価が必要です。
また、【大きさ】であっても、音に複雑な時間変化を伴う場合や、音を聴く条件が特殊な場合は実験を用いることもあります。

O-Solution 音質評価機能 OS-0525

ラウドネス、シャープネス、トーンリシティなどの音質評価指標が計算できます。詳細な解析も可能です。別オプションの変動音解析とセットのご利用も好評です。



— ラウドネス — A特性音圧レベル

3種類の機械音を解析した事例です。
“A特性音圧レベル”では殆ど差が見られませんが、
人の聴感を加味した音の大きさ”ラウドネス”では、
それぞれ値が変化していることが分かります。

Webアプリケーション Sound One

音の収録、編集、管理、シンプルな聴感実験ができます。
お手持ちのパソコンやスマートフォンで、
どなたでも簡単にお使いいただけます。



100名超の回答も
集められます！



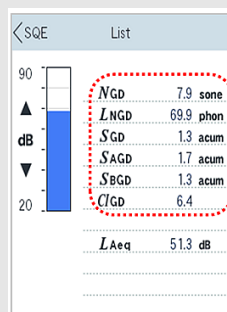
従来の手法をシンプルにアレンジした
オリジナル聴感実験”Audio Test”を搭載しました。
テストはメール・URL配信するので、
数多くの回答を短時間に集めることもできます。

高機能騒音計 音質評価機能 LA-0708A

騒音計の使用シーンに有用な、ラウドネス、
シャープネス、CI値などを評価できるオプションです。
騒音レベルの評価と合わせてご利用いただけます。



LA-7000シリーズ



音響振動コンサルティング

音のプロフェッショナルが聴感実験を受託します。
お話を伺いながら、丁寧にプロジェクトを進めます。
音の収録や解析のみなどの実施も可能です。



実験室レンタル

聴感実験に使用する音の収録や、
厳密な実験環境に使用できる実験室です。
コンサルティングと合わせたご利用もおすすめです。



半無響室



無響室

技術セミナー

音質評価と主観評価を講義形式でご紹介します。
基礎知識をつけたい方におすすめです。
ほかにも様々なテーマで開催しております。

